



／＼“コンパクトシティ”の良さが出ていない！！／

など、積極的なスポーツ推進事業を行っているが、認知度は低め

問題・課題意識を踏まえて・・・

【コンパクトシティらしさ】➡

をまちづくりの軸に設定！

- ・ 藤にいれば何でもできる
- ・ こどももおとなも高齢者も外国人もみんな繋がる
- ・ 自然に動いて、集まって、みんなで笑う



STEP

1 日常生活に“動き”をつける まちづくりアイディア

- ・ 駅の階段にカロリー消費表示
音のなる仕掛け

エスカレーターではなく、階段を選
びたくなる工夫を施す
日常生活に動きをもたらす仕掛け
普段から足を動かすことで
足腰を鍛えていく



- ・ 街中にスタートとゴール表示

既存のランニングコースとは別に、
スタートとゴールの表示を
道路、もしくはポスターで掲示
どこからでも始められる、どこでも
終われる、そんな気軽にできる
ウォーキングを促進する仕掛け



STEP

2 コミュニティに“溶け込む” まちづくりアイディア

- ・ 「ゆるスポーツプロジェクト」



「スポーツ弱者を、世界からなくす。」
をコンセプトに、誰もが行う事が出来る
新しいスポーツ＝「ゆるスポーツ」
<https://yurusports.com/>

運動に不安のある高齢者・コミュニケーションが不安な外国人移住者など、様々な境遇の人々が集まる
藤市にぴったりのスポーツではないか！？

500歩サッカーやブラックホール卓球など、海外でも人気のスポーツをアレンジした競技やトルコ相撲
をアレンジした「ぬるぬる腕相撲」といったオリジナル競技などをまずはイベントで実施



駅前広場に100cm走のペイントを設置したら…
公園のベンチをイタイッス仕様にしたら…

STEP

3 スポーツで“つながる” まちづくりアイディア

- ・ 公園やその駐車場の1部を
バスケットやバレーのコートにする
歩く・走る以外のスポーツも出来る場所をより
身近に。他市に行かなくても体を動かせる
みんなが集まる場所になる

- ・ 「出張青空教室プログラム」

普段は市民体育館や公民館で行っている
ヨガやピラティス、「3B体操」などの
運動プログラムを出張版として
駅前広場や道路のスペース、学校の校庭
などで実施
いつも参加していない層の参加を促し
新しいコミュニケーションのつながりを
生み出すことが出来る



将来展望

ただの「コンパクトシティ」ではなく、**住民同士のつながりのある「コンパクトシティ」**として、
高齢者比率や外国人在住者比率が増加しても、スポーツを中心に、健康でいきいきとした生活を提供する。
日常的な健康意識の高まりや、スポーツへの関心度の高まりを起点に、もともと実施していたスポーツ推進の活動も、さらに活発化が見込める。「ゆるスポーツ」や「青空教室」など**新たな視点を持つまち**としても、価値を高める。